

『笠岡市認知症サポーター養成講座』

のご案内

1. 「認知症サポーター養成講座」とは？

認知症の人や家族が、安心して暮らせるために、認知症を正しく理解し、見守る人が一人でも多く増えてほしいと願って「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

サポーター講座を受けたら何か特別な役割を任される訳ではありません。認知症の本人、家族の方の“応援者”になってほしいと願っています。



2. 「認知症サポーター養成講座」の講師は？

講座の講師は「認知症キャラバン・メイト」の皆さんです。

県で行う養成研修を受講した方々で、認知症の知識と具体的な対応方法等を伝えています。

笠岡市では約 80 名のメイトさんが9つの班に分かれて活動中です。

介護保険施設の職員やケアマネジャー、地域包括支援センターや社会福祉協議会の職員、ボランティア等の方々が担っています。



3. 「認知症サポーター養成講座」が始まった経緯は？

この講座は、全国各自治体で実施されています。

H16年に「痴呆」という用語を「認知症」に改めたこと等を契機に、

H17年4月「認知症を知り地域をつくる10カ年」キャンペーンが開始され、「認知症サポーターキャラバン事業」が始まりました。



認知症サポーターキャラバン
マスコットキャラクター
「ロバ隊長」

4. 笠岡市の「認知症サポーター養成講座」の実施状況

笠岡市では、H21年度から開催し、これまでに、144回、4,644名が受講してくださいました。(H30年3月末時点)

病院や介護施設の職員・警察署職員・福祉委員や愛育委員・小学生などの方々が受講してくださいています。

5. 「認知症サポーター養成講座」の内容は？

1時間～1時間半の講座です。

内容は、下記の形式を基本としますが、受講者の年代や職業等にあわせて実施します。
大人の方だけでなく、小中学生の方々にも、受講していただくことができます。



受講した方には、“オレンジリング”をお渡ししています。
「認知症の方を応援していますよ」という気持ちを表すリングです。

時間配分	内容
5分	1. あいさつ ◆認知症サポーター養成講座について ◆キャラバン・メイト自己紹介
25分	2. 認知症とは？ ◆脳のはたらき ◆認知症を引き起こす主な病気 ◆認知症の症状（中核症状・周辺症状）など
20分	3. 認知症の人の気持ちについて ◆寸劇や疑似体験，グループワーク等を実施し，認知症の人の気持ちについて考える
15分	4. 認知症の診断・治療・予防について ◆受診の必要性や受診先 ◆治療方法 ◆予防方法
10分	5. 認知症の人と接する心構え ◆基本姿勢 3つの「ない」 ◆具体的な対応の7つのポイント
10分	6. 介護者の気持の理解について ◆介護者が受容に至るまでの気持ちの変化（第1～4ステップ）
5分	7. まとめ ◆認知症サポーターとは？サポーターに出来る事について ◆アンケート記入依頼，オレンジリング贈呈



6. 「認知症サポーター養成講座」を受講した方々の感想

認知症について自分が思った以上に知らなかったと気付いた。

認知症の人は何も分からない訳でなく、初期に、自分でも異変に気が付いているという事を知らなかった。本人の気持ちを受け止めて傷つけないようにそっと見守り、助けることが大事だと思った。

「おばあちゃん、そこ道路だから危ないよ」と声をかける。
(小学生)

特別扱いしたり避けたいせず、優しい声をかけたい。
(小学生)

当事者の声の朗読を聞き、「家に帰りたい」という言葉には、「不安だ」という気持ちがある事が勉強になり、話を聴く事も大切だと思った。

疑似体験で、認知症の方の気持ちになる事は初めてだったので、大変分かりやすかった。全否定される事への戸惑い、不安等を理解できて良かった。

ロールプレイを通じて、認知症の方がどう感じてこちらの言葉を聴いているのか分かった。相手の立場に立つという意味をもう一度考えていきたい。

7. 申込について

市内に在住、在勤、在学の方を対象として、5人以上で構成するグループからお申込みいただけます。

講師調整などの関係上、講座開始希望日の2か月前にはお申込みください。

申し込み先: 笠岡市 地域包括支援センターへ ☎: 62-6662 FAX: 62-5702

問合わせ先: 笠岡市役所 地域包括ケア推進室 ☎: 69-1033 FAX: 62-2182